

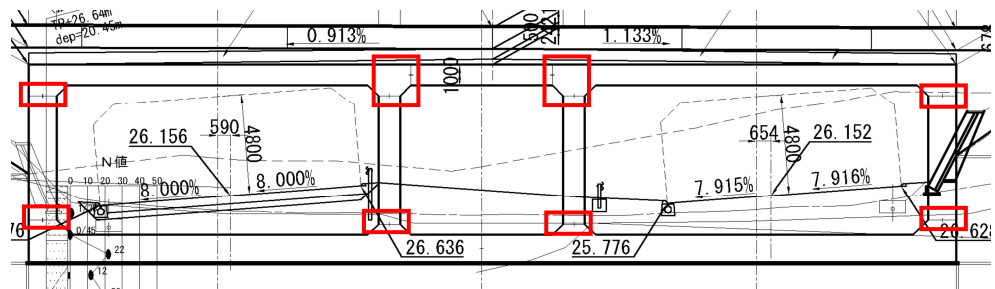
訂正箇所	正誤区分
特記仕様書 29頁 21-4-5 切土 補強土工	<p data-bbox="277 568 309 602">誤</p> <p data-bbox="347 398 459 432">(3) 施工</p> <p data-bbox="357 443 1453 517">切土補強土工 $D32 \cdot L = 4.0\text{m} \sim L = 10.0\text{m}$の施工は、共通仕様書4-23-3の規定によらず下記のとおりとする。</p> <p data-bbox="411 528 1437 602">1)切土補強土工 $D32 \cdot L = 4.0\text{m} \sim L = 10.0\text{m}$の施工は、「土木施工管理要領」及び「設計・施工指針・同解説」の規定によるものとする。</p> <p data-bbox="411 613 1469 730">2)切土補強土工 $D32 \cdot L = 4.0\text{m} \sim L = 10.0\text{m}$の施工は、のり面補強工 コンクリートパネル$1.2\text{m} \times 1.8\text{m} \times 0.12\text{m}$、コンクリートパネル$0 \sim 1.2\text{m} \times 1.8\text{m} \times 0.12\text{m}$と合わせてのり面最上段より施工（逆巻き施工）を行うものとする。</p> <div data-bbox="389 734 1469 786"></div>
	<p data-bbox="277 1615 309 1648">正</p> <p data-bbox="347 1294 459 1328">(3) 施工</p> <p data-bbox="357 1339 1453 1413">切土補強土工 $D32 \cdot L = 4.0\text{m} \sim L = 10.0\text{m}$の施工は、共通仕様書4-23-3の規定によらず下記のとおりとする。</p> <p data-bbox="411 1424 1437 1498">1)切土補強土工 $D32 \cdot L = 4.0\text{m} \sim L = 10.0\text{m}$の施工は、「土木施工管理要領」及び「設計・施工指針・同解説」の規定によるものとする。</p> <p data-bbox="411 1509 1469 1626">2)切土補強土工 $D32 \cdot L = 4.0\text{m} \sim L = 10.0\text{m}$の施工は、のり面補強工 コンクリートパネル$1.2\text{m} \times 1.8\text{m} \times 0.12\text{m}$、コンクリートパネル$0 \sim 1.2\text{m} \times 1.8\text{m} \times 0.12\text{m}$と合わせてのり面最上段より施工（逆巻き施工）を行うものとする。</p> <div data-bbox="389 1630 1485 1771">3)切土補強土工 $D32 \cdot L = 4.0\text{m} \sim L = 10.0\text{m}$の施工に伴い発生する汚排水の処分が必要となった場合は、監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。</div>

訂正箇所	正誤区分
特記仕様書 63頁 21-21 のり面 補強工	<p data-bbox="277 568 309 607">誤</p> <p data-bbox="416 282 523 311">(4) 施工</p> <p data-bbox="453 322 1410 389">1) のり面補強工の施工は、「土木施工管理要領」及び「設計・施工指針・同解説」に基づき、行うものとする。</p> <p data-bbox="453 400 1410 512">2) のり面補強 1 段毎の逆巻で施工を行うものとする。その際、下段の施工に入る前に切土補強土工で施工するグラウト材について、所定の強度に達していることを確認しなければならない。</p> <p data-bbox="453 524 1083 553">3) 切土補強土工の頭部固定を確実に行わなければならない。</p> <p data-bbox="453 564 1410 788">4) 現地の地形、地質条件等により、設計条件に相違が生じる場合は、のり面補強工の構造や施工範囲等の変更を指示する場合がある。その場合、受注者は監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者との協議し定めるものとする。また、基礎地盤や背面地山に湧水が発生し、壁面に影響を及ぼさないよう監督員が特別な排水処理等の指示をした場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <div data-bbox="445 788 1463 837"></div>
	<p data-bbox="277 1615 309 1653">正</p> <p data-bbox="416 1301 523 1330">(4) 施工</p> <p data-bbox="453 1341 1410 1408">1) のり面補強工の施工は、「土木施工管理要領」及び「設計・施工指針・同解説」に基づき、行うものとする。</p> <p data-bbox="453 1420 1410 1532">2) のり面補強 1 段毎の逆巻で施工を行うものとする。その際、下段の施工に入る前に切土補強土工で施工するグラウト材について、所定の強度に達していることを確認しなければならない。</p> <p data-bbox="453 1543 1083 1572">3) 切土補強土工の頭部固定を確実に行わなければならない。</p> <p data-bbox="453 1583 1410 1807">4) 現地の地形、地質条件等により、設計条件に相違が生じる場合は、のり面補強工の構造や施工範囲等の変更を指示する場合がある。その場合、受注者は監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者との協議し定めるものとする。また、基礎地盤や背面地山に湧水が発生し、壁面に影響を及ぼさないよう監督員が特別な排水処理等の指示をした場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <div data-bbox="432 1807 1445 1883">5) のり面補強工の施工に伴い発生する汚排水の処分が必要となった場合は、監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。</div>

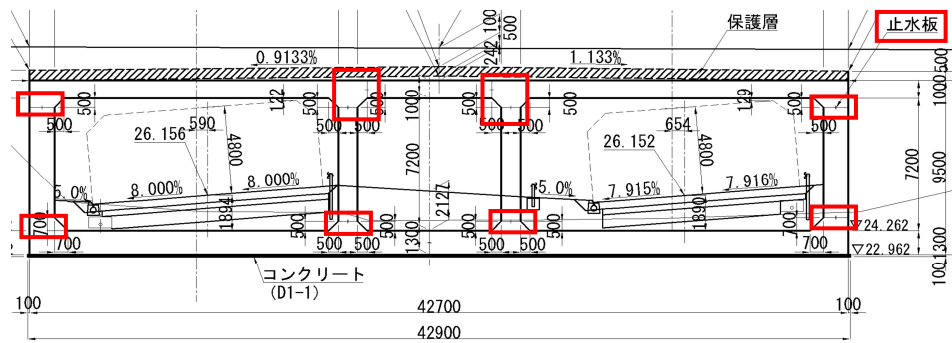
設計図
(函渠工)
55/82頁
本線第3号
BOX一般図

誤

側 面 図



本体断面図 S=1:500

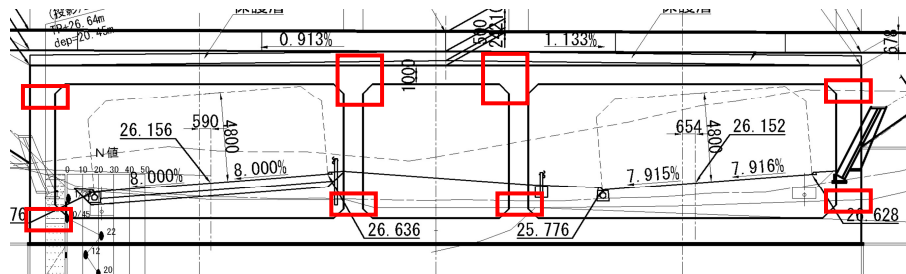


数 量 表

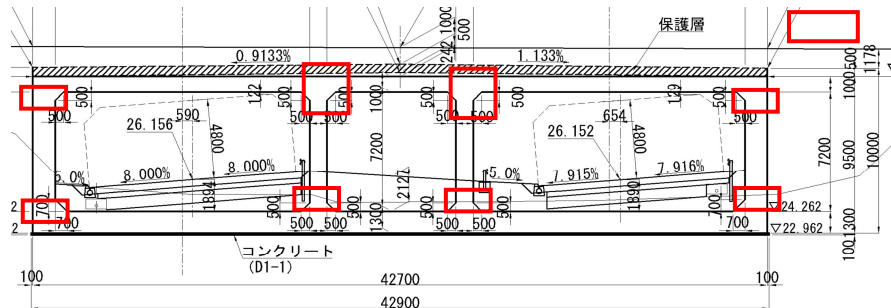
項 目	種 別	単位	本体内	ウイング	壁高欄	合 計	摘要
構造物掘削	普通部	m3	2763.9			2763.9	
経目工	止水板	m	128.7			128.7	経目工 I 型
はく落防止工	連続繊維シート	m2	758.5			758.5	
地下排水工	Du-P-φ0.15・0.5・0.5	m	85.4			85.4	

正

側 面 図

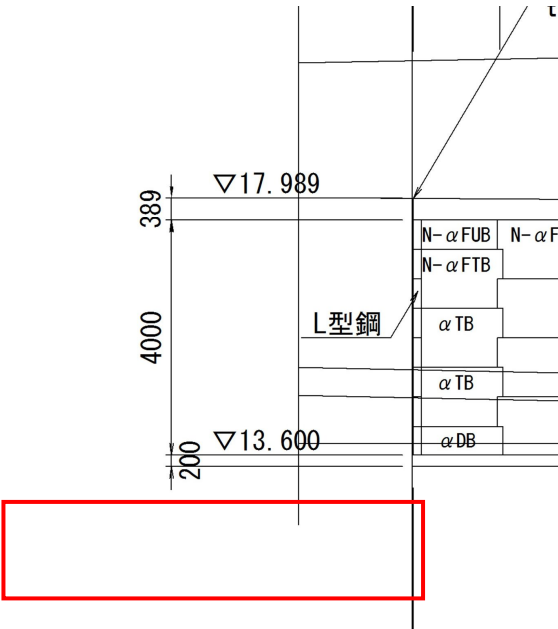
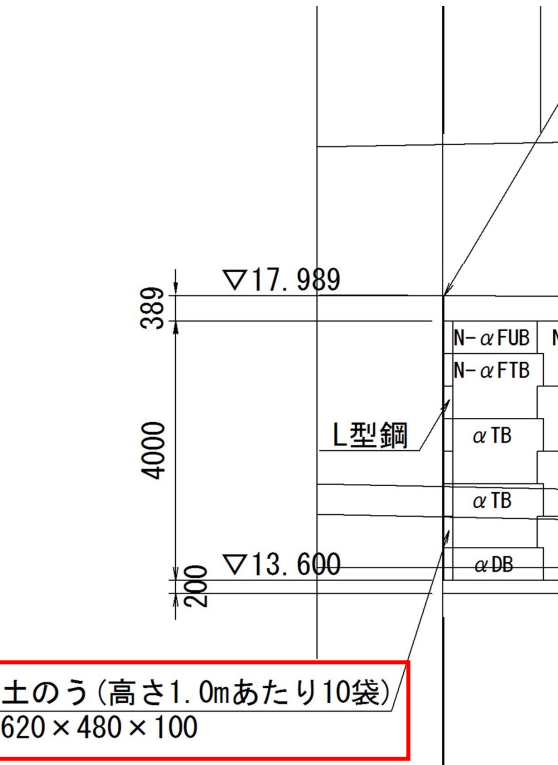


本体断面図 S=1:500



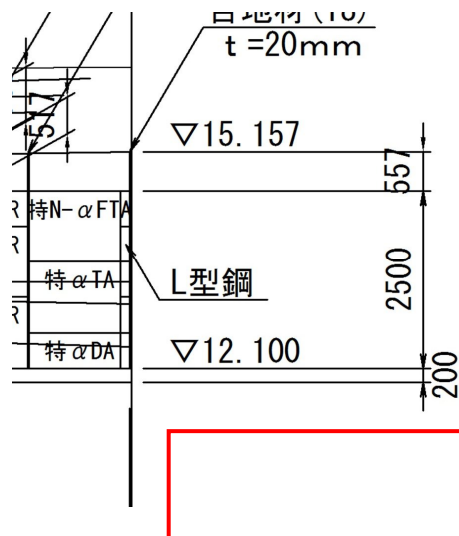
数 量 表

項 目	種 別	単位	本体内	ウイング	壁高欄	合 計	摘要
構造物掘削	普通部	m3	2763.9			2763.9	
はく落防止工	連続繊維シート	m2	758.5			758.5	
地下排水工	Du-P-φ0.15・0.5・0.5	m	85.4			85.4	

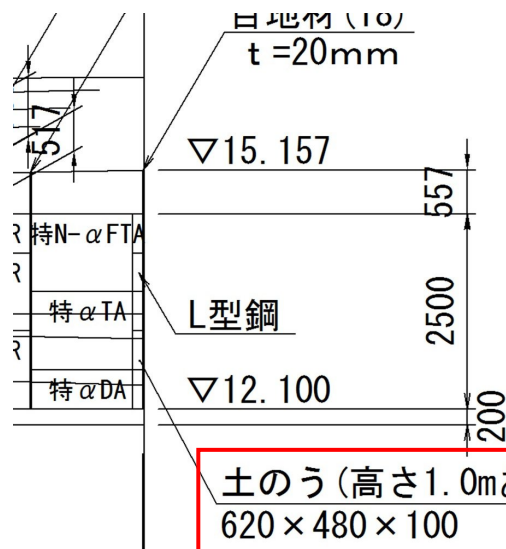
訂正箇所		正誤区分	
設計図 (附帯工) 70/349頁 補強土壁工詳細図 (2)	誤		
	正		

設計図
(附帯工)
72/349頁
補強土壁工詳
細図(4)

誤



正



設計図
(附帯工)
75/349頁
補強土壁工詳細図(7)

誤

材 料 表		565.2m2当り			
名 称	規 格	数 量	単位	備 考	
ホールド材固定アングル					
シングルコネクター用	60 × 105 × t4.5 × 32	4	個		
ダブルコネクター用	60 × 105 × t4.5 × 55	22	個		
	小 計	26	個		
基礎コンクリート	C2-1	11.8	m3		
重力式基礎コンクリート	C2-1	18.1	m3		
笠コンクリート	C2-1	42.0	m3		
均しコンクリート	D1-1	9.6	m3		
間詰コンクリート	D1-1	1.8	m3		
型わく	D	274.9	m2		
構造物裏込め工	裏込め工B	3907.4	m3	道路掘削で計上	
壁面材背面排水層	砕石（C-40）	275.1	m3		
基礎背面砕石	砕石（RC-40）	17.6	m3	重力式基礎部	
鉄筋	D13（SD345）	105.5	kg		
目地材	t＝20mm	5.8	m2		
	t＝15mm	11.3	m2		
地下排水工	Du-P φ 0.15-0.50-0.50	388.3	m	別途検測	
基盤排水層	再生砕石（RC-40）	452.6	m3		
分離材	不織布t＝1.5mm以上	951.5	m2	基盤排水層上面	

正

材 料 表		565.2m2当り			
名 称	規 格	数 量	単位	備 考	
ホールド材固定アングル					
シングルコネクター用	60 × 105 × t4.5 × 32	4	個		
ダブルコネクター用	60 × 105 × t4.5 × 55	22	個		
	小 計	26	個		
基礎コンクリート	C2-1	11.8	m3		
重力式基礎コンクリート	C2-1	18.1	m3		
笠コンクリート	C2-1	42.0	m3		
均しコンクリート	D1-1	9.6	m3		
間詰コンクリート	D1-1	1.8	m3		
型わく	D	274.9	m2		
構造物裏込め工	裏込め工B	3907.4	m3	道路掘削で計上	
壁面材背面排水層	砕石 (C-40)	275.1	m3		
基礎背面砕石	砕石 (RC-40)	17.6	m3	重力式基礎部	
鉄筋	D13 (SD345)	105.5	kg		
目地材	t=20mm	5.8	m2		
	t=10mm	11.3	m2		
地下排水工	Du-Pφ0.15-0.50-0.50	388.3	m	別途検測	
基盤排水層	再生砕石 (RC-40)	452.6	m3		
分離材	不織布t=1.5mm以上	951.5	m2	基盤排水層上面	

訂正箇所		正誤区分							
金抜設計書 単価表 185	誤	<table><tr><td>185</td><td>12 - (6)</td><td>ずり処理工 A 1</td><td>44,627</td><td>m³</td></tr></table>			185	12 - (6)	ずり処理工 A 1	44,627	m³
	185	12 - (6)	ずり処理工 A 1	44,627	m³				
正	<table><tr><td>185</td><td>12 - (6)</td><td>ずり処理工 A 1</td><td>44,638</td><td>m³</td></tr></table>			185	12 - (6)	ずり処理工 A 1	44,638	m³	
185	12 - (6)	ずり処理工 A 1	44,638	m³					